

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : タイテックスMU-A
会社名 : 株式会社 村山化学研究所
住所 : 京都府南丹市八木町大藪上河原田3番地
担当部門 : 技術開発部
電話番号 : 0771-42-5248
FAX番号 : 0771-42-5148

2. 組成、成分情報

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分5
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分3
	急性毒性（吸入：粉塵）	分類対象外

急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分3
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発癌性	区分2
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性 （単回曝露）	区分2（中枢神経系、呼吸器）
特定標的臓器・全身毒性 （反復曝露）	区分2（呼吸器）

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

飲み込むと有害のおそれ（経口）

吸入すると有害（蒸気、気体）

軽度の皮膚刺激

発がんの恐れあり

呼吸器への刺激のおそれ、アレルギー性皮膚炎の恐れ

長期または反復ばく露による臓器の障害（呼吸器）

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 この商品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明装置を使用すること。静電気放電
 や火花による引火を防止すること。
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休
 息させる、医師の診断、手当てを受けること。吐かせないこと。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ
 を容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚に付着した場合、流水、シャワーで洗うこと。
 衣類に付着した場合、直ちに全ての汚染された衣類を脱ぐこと、取り
 除くこと。
 曝露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者
 に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合品

化学名	ポリウレタン樹脂		
成分名	含有率 (%)	CASNO	化審法
ウレタン樹脂	90.0		既存
プロピレングリコールモノメチルアセテート	4.9	108-65-6	既存
メチル1,3-フェニレンジイソシアネート	3.6	26471-62-5	既存
アジピン酸ジイソノニル	1.9	33703-08-1	既存

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。 医師の手当て、診断を受けること。
目に入った場合	水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄すること。 医師の手当て、診断を受けること。
応急措置をする者の保護	火気に注意する。有機溶剤用の防毒マスクが有ればそれを着用する。
予想される急性症状及び遅発性症状	吸入すると、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失。 皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、発赤。 眼に接触すると、発赤、痛み。 飲み込むと、灼熱感、腹痛、咳、咽頭通、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失。

5. 火災時の措置

消火剤	小火災：炭酸ガス、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、散水 大火災：炭酸ガス、粉末消火器、耐アルコール泡消火器
使ってはならない消火剤	なし。
特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生する恐れがある。 極めて燃え易い、熱、火花、火災で容易に発火する。 引火性の高い液体及び蒸気。
特定の消火方	散水によって逆に火災が広がる恐れがある場合には上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行なう者の保護	移動不可能な場合、容器及び周辺に散水して冷却する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する。
------------	---

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、目、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収・中和	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し或は密閉できる空容器に回収する。 多量の場合は土砂、ウエス等で囲い流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 関係各所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。－禁煙 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行ない、保護具を着用する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の取扱いをしてはならない。 静電気対策を行なう。作業着、作業靴は導電性の物を用いる。 取扱い作業の電気設備は、防爆構造とし、機器類は接地する。
局所廃棄・全体排気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項	<p>周囲での高温、スパーク、火気の使用を禁止する。</p> <p>ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>眼に入れないこと。</p> <p>接触、吸入、又は飲み込まないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p>
保管	
技術的対策	<p>保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作る。</p> <p>保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切な溜め枘を設けること。</p>
保管条件	<p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙</p> <p>冷暗所、換気の良い場所で保管する。</p> <p>容器は直射日光や火気を避ける。</p> <p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>酸化剤から離して保管すること。</p>
容器包装材料	<p>消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	メチルー1, 3-フェニレンジイソシアネート 0.005ppm
設備対策	<p>屋内作業場で使用する場合局所排気装置を設置する。</p> <p>取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備をもうける。</p>
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	保護長靴、前掛け。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	微白濁淡黄濁粘液
臭い	微臭
pH	データ無し
沸点、初留点および	データ無し

沸騰範囲	データ無し
引火点	144℃
爆発範囲	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	データ無し
比重	データ無し
溶解度	水に不溶。
オクタノール/水分配係数	データ無し
自然発火温度	データ無し
分解温度	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性	一般的な取扱い条件下では安定である。
反応性	水と反応して発熱、二酸化炭素を発生する。アルコール、アミン等の活性水素とも発熱反応をする。三級アミン等により重合反応する。
避けるべき条件	高温、火気、スパーク。
混触危険物質	アルコール、アミン、アルカリ。
危険有害な分解生成物	火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガス。

11. 有害性情報 (4, 4-ジフェニールメタンジイソシアネート)

急性毒性	ラット LD ₅₀ 3332 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	眼に入ると激しい痛みが起こり、場合によっては視力障害を起こすことがある。
皮膚感作性	ヒト及びウサギの皮膚感作性がある。
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・	データなし
全身毒性	データなし
特定標的臓器・	データなし
全身毒性	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

廃棄 漏洩時、廃棄などには注意を払う。

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

空容器を廃棄する場合清浄にして関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行なう。

1 4. 輸送上の注意

国連番号 2 2 0 6

国連分類 クラス 6

消防法の規定に従う。

運搬容器が転倒、転落、落下、破損しないように積載すること。

食品や、飼料と一緒に輸送してはならない。

劇毒法の規定に従う

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れののないように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	名称を通知すべき有害物 メチルー1, 3-フェニレンジイソシアネート 名称等を表示すべき有害物 メチルー1, 3-フェニレンジイソシアネート
消防法	危険物第4類第3石油類 危険物等級Ⅲ
促進法（P R T R法）	（第1種指定化学物質） メチルー1, 3-フェニレンジイソシアネート

1 6. その他の情報

記載内容は当社の知見に基づいて作成しておりますが、必ずしも安全性を十分保障するものではありません。全ての化学品には未知の有害性が有り得るため取扱いは細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において安全な使用条件を設定下さるようお願いします。